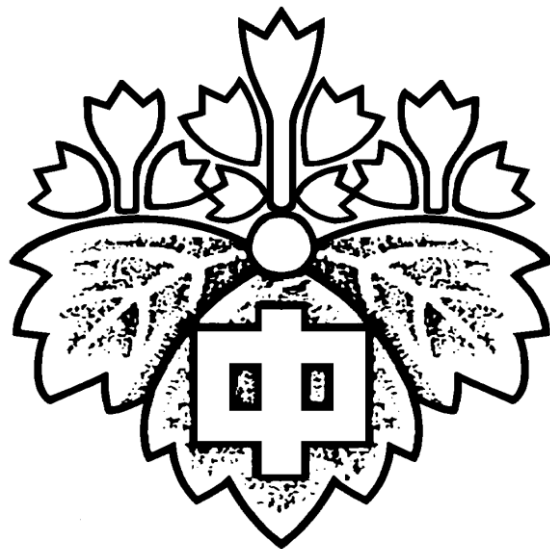


令和7年度

学習のねらいと進め方

各教科のシラバス

《第3学年》



大阪市立田辺中学校

教科	国語	学年	3	週当たり時間数	3
----	----	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	豊かに想像する	論理的に考える	読みを深め合う
	わかりやすく伝える	古典に学ぶ	視野を広げる
	ものの見方・感性を養う	情報を関係づける	振り返って見つめる
	期末テスト	中間テスト	学年末テスト
		期末テスト	

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト（知識・技能を問う問題）	テスト（文章理解力を問う問題）	提出物の内容
	小テスト	提出物の内容	発表
	単元テスト	条件作文	
	ワークシート	暗唱	
		小テスト（文章テスト）	
		ワークシート	

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

- ・タブレットを用いて「個別最適な学び」と「協働的な学習」の一体を目指した授業を行い、自ら考え、周りの人と協働して考える活動を行います。
- ・説明文や物語など様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、自分の考えを伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけましょう。
- ・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。毎週末には元気アップの課題として視写プリントを配布します。視写は、語彙力や書く能力を向上させることができます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
- ・授業中のノートについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気づいたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外にメモとして記入しましょう。

教科	社会	学年	3	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

<p>【歴史的分野】</p> <p>(1)我が国歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力を身に付ける。</p> <p>【公民的分野】</p> <p>(1)現代社会の見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。</p> <p>(2)現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題を多面的・多角的に考察し、それらを解決する力をはぐくむ。</p>

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	二度の世界大戦と日本	現代社会と文化	財政
	現代の日本と私たち	現代社会をとらえる枠組み	国際社会
		日本国憲法	
		民主政治	
		市場経済	

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト（小テストも含む）	テスト（小テストも含む）	提出物の内容
	提出物の内容	提出物の内容	振り返り
		振り返り	

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントを使用し、基礎的な用語など身につけます。 ・小テストにて基礎的な用語の確認を行います。 ・グループ学習を行いテーマに応じた探求力を身につけます。

教科	数学	学年	3	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

数学科では、日常生活や自然現象を記述するために必要な数学的な考え方や技術を身につけることを目的としています。生徒が論理的に思考し、問題を解決する力を養うために、計算、図形、データ分析などの基礎的な内容を学習します。数学を通して、問題解決の過程で思考力や創造力を高め、他の教科や生活においても役立つ能力を培います。到達目標としては、

1. 数学的な用語や記号を理解し、正しく使うことができる。
2. 計算力や論理的思考力を高め、複雑な問題を解決できる能力を身につける。
3. 幾何学的な図形や公式を理解し、実生活に応用できる力を養う。
4. 統計や確率に関する基本的な知識を使って、身の回りのデータを分析し、結論を導き出すことができる。

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	式の展開と因数分解	関数 $y = ax^2$	三平方の定理
	平方根	図形と相似	標本調査とデータの活用
	二次方程式	円の性質	
		三平方の定理	

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト（小テストも含む）	テスト（小テストも含む）	提出物の内容
	提出物の内容	提出物の内容	振り返り

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

数学をなぜ学習するのか、数学を使って何ができるようになるのか、数学ができるようになるとうなるのか、それぞれの目標を持ち授業に参加しましょう。

授業を受けるときは、話を聞き、試して、自分ひとりでできるようになり、説明できるようになるように工夫しましょう。

授業を受けることは目的でなく、数学の力を身につけるための手段であることを意識できるようになりましょう。

ノートは理解を深めるために使用するものであり、授業中に気づいたことをメモするなど工夫しましょう。

家庭学習を大切にし、なぜ予習、復習、宿題をするのか意味を考えて取り組みましょう。

教科	理科	学年	3	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	生命の連続性【生命】	運動とエネルギー【エネルギー】	地球と宇宙【地球】
	・生物の成長と生殖	・物体の運動	・宇宙の広がり
	・遺伝の規則性	・力のはたらき方	
		・エネルギーと仕事	地球と私たちの未来のために【環境】
	化学変化とイオン【物質】	地球と宇宙【地球】	・自然の中の生物
	・水溶液とイオン	・地球の運動と天体の動き	・自然環境の調査と保全
	・酸・アルカリとイオン	・月と金星の見え方	・科学技術と人間

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	定期テスト	定期テスト	実験
	小テスト	小テスト	提出物の内容
	実験	実験	
	提出物の内容	提出物の内容	

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

・理科は身近な日常の現象がどのようにして起こるのかを、様々な角度から考えていきます。

・覚えることが多いように思う理科ですが、理屈をしっかりと理解することが大切です。

・実験を通して実際に器具に触れて、日常の現象を自分で起こすことで、実体験として理解していくことが大切です。

・ICTを活用することで、学校では再現することのできない現象を視覚的にとらえることができるように取り組んでいきます。

教科	音楽	学年	3	週当たり時間数	1
----	----	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付けるようにする。

（２）音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

（３）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんで行く態度を養い、豊かな情操を培う。

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	オリエンテーション	歌唱練習	卒業に向けて歌唱練習
	歌唱練習	リコーダー二重奏	実技テスト（歌唱）
	アルトリコーダー練習	音楽鑑賞（調べ学習）	
	実技テスト（歌唱・リコーダー）	実技テスト（二重奏）	
	音楽鑑賞（現代）	期末テスト	
	期末テスト		

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	実技テスト	実技テスト	実技テスト
	期末テスト	期末テスト	ワークシート
	ワークシート	ワークシート	観察
	観察	観察	

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

・音楽の学習では、さまざまなジャンルの楽曲を歌い、卒業に向けての合唱練習に取り組みます。これまで学習したことを基にアルトリコーダー奏、鑑賞では近代・現代の楽曲を学習します。歌唱活動では、これまでの学習を基に楽曲にふさわしい発声や表現を工夫したり、合唱ではハーモニーの美しさを追求する実技力を高めるとともに、豊かに表現する力を養っていきます。リコーダー奏ではペアで楽曲を創り上げる二重奏に取り組んでいきますので、「共に創り上げる」思いを持つことも大切です。

・音楽は、授業内で行う実技テストや筆記テスト、ワークシートの取り組み内容、授業中の発表で評価をつけます。

教科	美術	学年	3	週当たり時間数	1
----	----	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。

（３）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	画面構成	浮世絵と日本美術	現代美術鑑賞
	学校で役立つピクトグラム	未来の自画像	中央公会堂イルミネーション
	ピカソに倣う		

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	作品	作品	作品の進捗
	アイデアスケッチ	アイデアスケッチ	ワークシート
	テスト	テスト	
		ワークシート	

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

3年生では、1、2年生で学習した内容をもとに制作活動を深め、義務教育の集大成となる作品を制作していきます。

気持ちを込めて作ること、自分が表現したいことを掘り下げること、感じたことや考えたことを伝え合うことを大切に、取り組みましょう。

作品だけでなく、アイデアスケッチ、鑑賞レポートなども、評価の対象になります。

教科	保健体育	学年	3	週当たり時間数	3
----	------	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

（２）運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

（３）生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・集団行動、ラジオ体操 ・体づくり運動 ・新体力テスト ・陸上 ・保健、体育理論 ・期末テスト ・水泳 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳 ・陸上 ・体育大会の練習 ・球技 ・保健 ・期末テスト ・陸上 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上 ・ダンス ・保健 ・球技

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の運動の特性に応じた、基本的な技能を身につけている。 ・健康や安全について、基本的な知識を理解し、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに実践するための課題を発見し、解決に向けて考え、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・健康や安全について、課題解決をめざし、科学的に考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に関心を持ち、楽しさや喜びを経験できるよう、進んで取り組もうとしている。 ・健康や安全に関心を持ち、進んで学習に取り組もうとしている。

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

授業の進め方

●体育

- ・１年間を通し「ランニング、ラジオ体操、準備運動、トレーニング」を継続して行い、基礎体力の向上を図り、集団行動を身につけて安心で安全な集団を構築する。
- ・单元ごとの「めあて」に応じて、学習目標・計画をたて、授業の展開をする。
- ・ゲームなどを行い、記録をとりながら、練習の成果をためす。
- ・ICTを活用した授業を実践し、より深い授業展開及び活動につなげていき、生徒に興味関心そして主体的な活動に取り組んでいく。

●保健

- ・教科書「中学保健体育」を中心に、教科書とワークシートを中心に学習していく。单元によっては、体育実技と関連して学習を展開し、主体的深い学び及び協働学習に取り組んでいく。

教科	技術家庭	学年	3	週当たり時間数	1
----	------	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	プログラミングを用いた計測制御	生物育成の技術	ネットワークを活用したプログラミング
		生物育成実習	
	家族・家庭と地域	実技	実技
	幼児の生活と家族	幼児の遊びと発達	幼児のおもちゃづくり
	これからの家族と地域	幼児のおもちゃづくり	調理実習

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト	テスト	ワークシート
	実技	ワークシート	実技
		実技	

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

<技術分野>

- ・人間が生活をするためには生物育成の技術は必要不可欠です。正しい知識を身につけて日常生活をより豊かにしましょう。
- ・実習では実際に作物を育てます。愛情を持って取り組みましょう。

<家庭分野>家庭分野の学習は、これからの生活を展望し、課題をもって主体的によりよい生活を工夫できる力を身につけるうえで大切な学習です。特に中学生の時期は、人々に支えられて生活していることに気づくこと、そして自分も生活を支える一員としての自覚を持ち、生活をよりよくしようとする創意工夫をしていきましょう。また、班学習などを通じて、ひとりひとりが自己の責任を果たすことの大切さや相互に協力しながら学ぶことも大切なことです。学習したことを生活に活かせるよう、しっかり勉強しましょう。

教科	英語	学年	3	週当たり時間数	4
----	----	----	---	---------	---

1 教科概要（到達目標や目的）

【聞く】	はっきりと話されれば，社会的な話題について，短い説明の要点をとらえることができる。
【読む】	社会的な話題について，簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。（～500語程度）
【話す】	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，考えたことや感じたこと，その理由などを，簡単な語句や文を用いて話すことができる。
【書く】	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，考えたことや感じたこと，その理由などを，簡単な語句や文を用いて書くことができる。（～80語程度）

2 年間授業計画（学習单元など）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	受け身	間接疑問文	仮定法
	現在完了(進行形)	後置修飾	討論
	手紙の書き方	関係代名詞	スピーチ原稿の理解
	不定詞	日本の郷土や文化紹介	学年末テスト
	活動報告	中間テスト	
	期末テスト	期末テスト	

3 主な成績評価の方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	テスト(小テスト含む)	テスト(小テスト含む)	パフォーマンステスト
	パフォーマンステスト	パフォーマンステスト	提出物の内容
	提出物の内容	提出物の内容	

4 担当者からのメッセージ（学習方法など）

英語の授業では間違いを恐れずにどんどん発言してみてください。間違いから気づきが生まれ、学びにつながります。ペア学習やグループ学習では、友達と協力してお互いの力が伸ばせるよう積極的に活動しましょう。
また、家庭学習では復習に力をいれましょう。特に、音読を大切にしてください。声に出して読むことで、スピーキング力につながります。教科書の QR コードも利用して、正しい音声をインプットすると発音力も向上します。